

---

# 星の声

小鳥遊 葉月

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

星の声

### 【コード】

N0463U

### 【作者名】

小鳥遊 葉月

### 【あらすじ】

学校生活はキラキラしてて、毎日が楽しいと思ってた。 だけど、楽しいことがある反面、辛くて苦しいことだってあったんだ。 何が正しくて、何が間違っているのか…… それすらも判断できないくらいに、不安と絶望に酔いしれていた、私の記憶。

## 事の発端

人の言葉はあやふやで、人の思考もあやふやで。

どうして今までやってこられたのか不思議で、悔しくて。

でも、自分の力じゃどうにもできないことがわかっているからもどかしくて、歯がゆい。

だけど、どうにかしたかった。

自分自身が間違ってたことだってたくさんある。

だけど、みんなが間違ってたこともたくさんあるよね。

それを理解して欲しかったんだ。

そして、また1からやり直したかった。

たったそれだけのことなのに、どうしてあれだけの涙が流れて、いくつもの言葉の暴力が行き交ったんだろう。

先生に頼ったってダメなんだって思った。

先生は、自分に厄がこないように上手く言って、最後には理不尽な言葉を吐く。

キラキラしていたはずのこの生活。

毎日が楽しくて仕方なかった昨日までの日々。

これから先、離れてしまってもきっとお互いにやりとりして、仲良くやっていくと思ってた。

この関係が、この仲が、ずっとずっと続くと思ってた——……

### PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n0463u/>

---

星の声

2011年10月8日20時39分発行